2021 年度　全日本スーパーフォーミュラ選手権における「JRP タバード運用」について

「運用の目的」

ピットレーンでご取材いただくにあたり、安全に作業頂くための「安全の確保」と「安全の管理」、不測の事態が発生した場合に備えるための「責任の所在の明確化」を目的とし、下記の通り「JRP タバード」配布及び運用基準を設定致します。
この運用基準は、各主催者様の趣旨に賛同、協力することを最優先事項と考え、また本年も新型コロナウイルス感染防止対策の指針に基づいた作業環境となりますため、「JRP タバード」の発行枚数は各大会２０枚を上限に配布することと致します。

「JRP タバード」を着衣するメディア様、フォトグラファーの方々には、上記内容をご理解頂き、また安全に対する各主催者様の規則を遵守した上で、より多くの媒体に掲載頂き、本シリーズの振興に寄与頂けますようお願い致します。

1．「JRP タバード」配布選定基準（ピットレーンで作業するための基準）

・大会ごとの各主催者への取材申請を行った後、取材を許可された方で、A パス以上を発給される方
　且つ主催者が定めた保険に加入している方で、下記の条件を満たす方
・全国紙、一般紙、専門誌の発行媒体社、及び WEB 媒体社など、各主催者のメディアパス発行基準を満たしている方
・本大会のシリーズパートナー社様２社、シリーズサポーター社様１社、プロモションパートナー社様１社の広報用媒体（WEB サイト含む）より任命された方
・媒体への掲載にあたり、JRP タバード着用者のみが立ち入れるエリア（ピットレーン作業エリア）へのアクセスを必要とする方
・JRP および主催者双方が特別に認めた媒体・団体の方

2．申請方法

・メディアパスが発給される各媒体責任者（管理責任者）からの申請とし、個人からの申請はできません。
・本大会のシリーズパートナー社様２社、シリーズサポーター社様１社、プロモションパートナー社様１社の広報用媒体（WEB サイト含む）は、各社様の広報担当責任者（管理責任者）からの申請となります。
・申請のタイミングは「年間での申請」「大会ごとの申請」とし、各媒体責任者が選択して JRP へ申請いただきます。
　年間での申請であっても、最終的な取材パスの発給は、各主催者の判断となります。

※メディアパス発給者が、複数媒体において掲載される場合、メディアパスが発給される媒体（JRP タバードを申請する媒体）・団体が代表管理責任者となります。

3．掲載報告の義務

・「JRP タバード」を発行された媒体各社様は、「JRP タバード」のみで撮影可能な写真が掲載された掲載紙、WEB ページの報告を義務可致します。報告の無い場合は、次戦以降「JRP タバード」を発給致しませんのでご注意ください。

4．例外規定

・上記条件を一部満たさない事案が発生した場合でも、JRP が条件付きでタバード発給を行ことがあります。
　その場合の管理責任者は株式会社日本レースプロモーションと致します。
・映像に関しては、別途 JRP が定めた規定による。

Series Partner HONDA TOYOTA　Series Supporter YOKOHAMA　Promotion Partner ThreeBond　Broadcasting Partner BSフジ J SPORTS　Supporting Companies 日本一 人気酒造 B.R.M Chronographe

5. JRP タバード立入可能エリア

スチール撮影の場合

プラットフォームPlatform (Signeling Area)	○	撮影及びコース前後(⇔)方向の移動は可能。	JRPタバード
ファーストレーン （Fast lane） 補助レーン （Auxiliary Lan）	×	撮影禁止	
ピット作業エリア （Woeking Area）	○ ×	撮影可能(土) 撮影禁止(日)	JRPタバード
ピットBOX ソーシャルバブルエリア / ピットBOX ソーシャルバブルエリア / ピットBOX ソーシャルバブルエリア	△	ピットおよびソーシャルバブルエリアへのエントラントから許可を得た場合のみ、立入可。	
パドック (Paddock)	○		JRPタバード or サーキットタバード

移動：プラットフォーム~ピットBOX間の横断は可。
※走行車両には十分注意すること。

ムービー撮影の場合

プラットフォームPlatform (Signeling Area)	○	撮影及びコース前後(⇔)方向の移動は可能。	JRPタバード
ファーストレーン （Fast lane） 補助レーン （Auxiliary Lan）	×	撮影禁止	
ピット作業エリア （Woeking Area）	○	撮影可能 JRPが撮影を許諾したうえで撮影可能。	JRPタバード
ピットBOX ソーシャルバブルエリア / ピットBOX ソーシャルバブルエリア / ピットBOX ソーシャルバブルエリア	△	ピットおよびソーシャルバブルエリアへのエントラントから許可を得た場合のみ、立入可。	
パドック (Paddock)	○		JRPタバード or サーキットタバード

移動：プラットフォーム~ピットBOX間の横断は可。
※走行車両には十分注意すること。

＊上記エリアでの作業につきましては、ヘルメットの着用をお願い致します。耐火服につきましては義務化は致しませんが、作業の安全面を考慮し、着用をおすすめ致します。

上記エリアの入場についてはSF のセッション開始 10 分前から、セッション終了後までとする。

＊この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション（http://www.superformula.net/）

102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル

e-mail : media@superformula.net Tel:03-3237-0131 Fax : 03-3237-0135

Series Partner HONDA TOYOTA Series Supporter YOKOHAMA Promotion Partner ThreeBond Broadcasting Partner BSフジ J SPORTS Supporting Companies 人気酒造 B.R.M

SUPER FORMULA

Japan race promotion inc.

「JRPタバード」使用申請書	
媒体名・会社名	
媒体社・会社名（または制作会社）	会社印
申請者（媒体・会社の責任者）	申請者印
年間申請または大会ごとの申請 （どちらかをマルで囲んでください）	2021年　全日本スーパーフォーミュラ選手権「年間申請」
	2021年　全日本スーパーフォーミュラ選手権 第（　）戦
「大会ごとの申請」を選択した場合の掲載予定日	
媒体社・会社の所在地	
電話番号	
FAX番号	
媒体・会社の申請者の電話番号	
メールアドレス	
タバード発行が必要なスタッフ名	1
	2
	3

＊この申請書はスチールカメラでの撮影に限る申請書になります。同機器による動画の撮影は別途映像撮影申請が必要です。

＊各大会ごとの申請は、開催週の金曜日から起算して１０日前までに申請ください。

Series Partner HONDA TOYOTA Series Supporter YOKOHAMA Promotion Partner ThreeBond Broadcasting Partner BSフジ J SPORTS Supporting Companies 人気酒造 B.R.M Chronographe

＊申請いただきました媒体、団体、スタッフにつきましては、
「2021 年度、全日本スーパーフォーミュラ選手権における「JRP タバード運用」について」の記載事項を遵守することに同意したことと致します。

＊申請いただいても、ご希望に添えないこともございますが、その場合は JRP 担当より
ご連絡させていただきます。

＊この申請書をプリントアウトし、下記まで FAX にて申請ください。
メールでの申請は受理されませんのでご注意ください。

＊開幕戦富士大会ご取材の「JRP タバード」申請期限は３月３１日と致します。

【申請書の FAX 送信先】

株式会社サンズ　堀内・上坂 宛　FAX　０３－６８９７-４８４０

Series Partner HONDA TOYOTA Series Supporter YOKOHAMA Promotion Partner ThreeBond Broadcasting Partner BSフジ J SPORTS Supporting Companies 日本一 人気酒造 B.R.M Chronographe